

議会一口メモ

砂川市議会委員会について

今回は砂川市議会委員会について簡単にお話しをします。

現在、砂川市議会では総務文教委員会と社会経済委員会の二つの常任委員会と議会運営委員会が置かれています。

総務文教委員会は、総務部、市立病院、教育委員会、会計課、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会及び固定資産評価審査委員会に関わることを担当しています。

社会経済委員会は、市民部、建設部、経済部及び農業委員会に関わることを担当しています。

二つの委員会は、各7人の委員が所属しています。議会運営委員会は、委員の定数を5人と定め、各会派から1名ずつ委員として所属しています。

議会運営委員会の仕事と

しては、定例議会、臨時議会
の①会期②議事日程③会議
における議事進行④提出議
案及び報告⑤一般質問及び
緊急質問⑥意見書・決議案
等の提出⑦特殊な請願及び
陳情書⑧議会費の予算⑨議
会図書室⑩その他議会運営
上必要な事項に関する事項
についてとなっております。

その他、必要がある場合に
議会の議決により特別委
員会を設置することができ
ます。

傍聴してみませんか？



本会議はいつでも、どなたでも傍聴できます。
市民生活に直結した問題が審議されています。
市政を知るためにも、議場で傍聴されると、より議会が身近に感じられると思います。
ぜひお越しください。
傍聴席は50席用意しています。
詳しくは、議会事務局(☎54-2121・内線342)へお問い合わせください。また、次回定例会は3月に開かれます。

市民の声

皆さん議会を傍聴してみませんか？

村上新一

私自身は自宅より市役所まで徒歩2分の距離で、頭の体操にもなると考え積極的に議会に足を運んでいます。

市民の皆さん覚えていますか。平成13年に「砂川市第5期総合計画」のダイジェスト版が市内各戸に配布されました。この内容は10年のまちづくりの指針が示されており、この中には「市民と共に歩み、共に創るまちづくり」とあります。このことは市民が主役であると同時に議員、市職員の皆さんも認識され、計画は3年を残すのみとなりました。完全にこの計画が達成できるのか？絵に書いた餅にならないよう今一度確認しておく必要があるものと思います。

さて、これからの砂川市は大きな問題をかかえております。市町村合併、財政問題、南一丁目線ガードの道路整備について等々皆さんの身近な問題です。今一度議会に目を向けられ市民の声として投稿されてはと……

私が傍聴して初めてであったが、砂川市立病院小熊院長から議員の質問に対し、病院の現状諸問題について詳しく丁寧に、且つ明解に納得のいく回答をされたことは聴いて嬉しく思っております。本会議は勿論のこと予算特別委員会では一層掘り下げた内容の質疑応答が行われますので傍聴されたいかががでしょうか。

編集後記

3月の第1回定例会は、新年度の市政執行方針により取り組む事業、それに伴う予算を議決するというとても大切な定例会です。そして10日間の会期を日程通り終え、建設に取り掛かる為の「市立病院の改築」、他に農林商工業の振興、生活環境の整備、社会福祉の充実、保健衛生医療の向上など、市民の皆さんにとつて深く関わりのあることを審議して参りました。

市民の皆さんから負託を受けた議員として、更に市民と議会の懸け橋の一つである「市議会だより」を通して、議会が取り組んでいる様子を知って頂ければと編集委員と事務局が一体となって努力をしているところです。

これからも、皆さんからたくさんのご意見を頂き、紙面づくりに工夫して参りたいと思います。
(沢田)

議会広報編集委員会

- 委員長 吉浦 やす子
- 副委員長 一ノ瀬 弘昭
- 委員 土田 政己
- 委員 沢田 広志
- 委員 飯田 明彦
- 委員 武田 圭介

※市議会だよりは資源保護のための再生紙と大豆インキを使用しています。